

## 2 鉄道の安全確保に関する方針

### 2-1 安全中期計画2020-2022

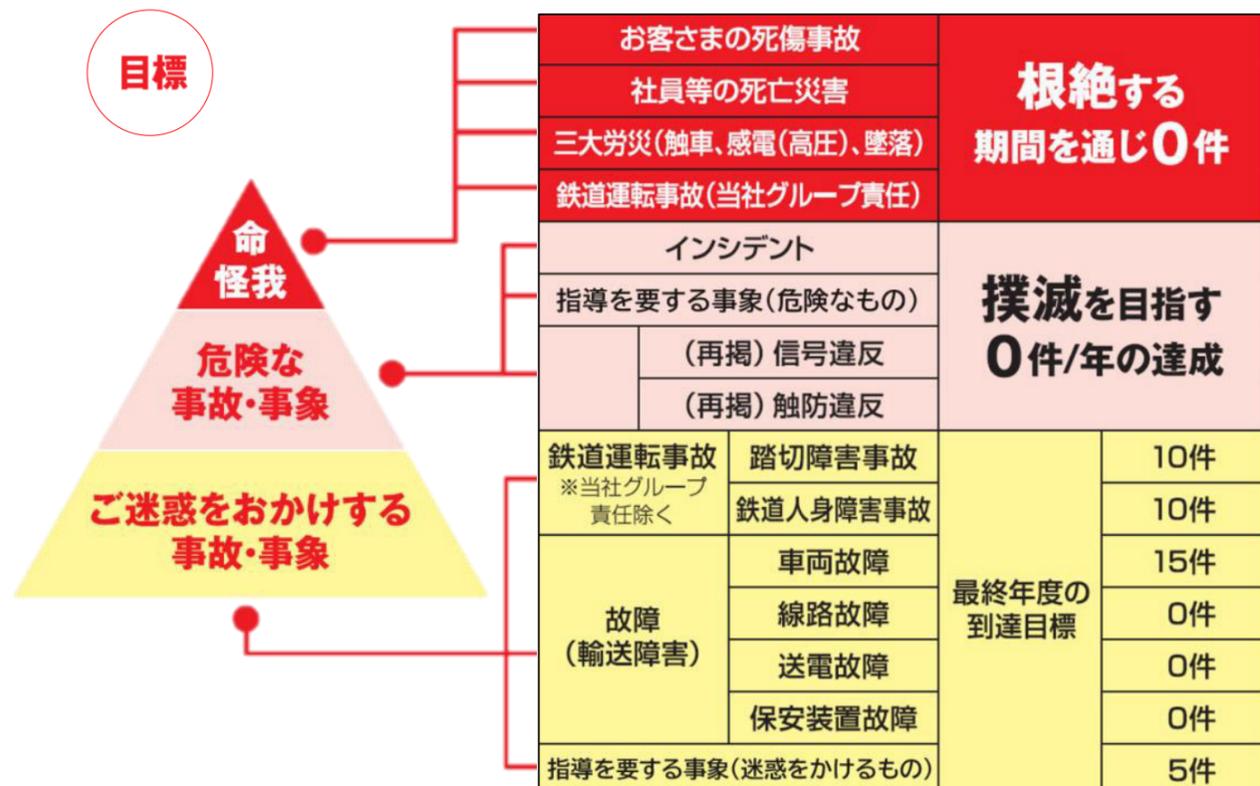
安全中期計画とは、JR九州グループの鉄道事業部門における3か年の取り組み方針と重点施策をまとめたものです。この計画に沿って、各年度の安全基本方針の策定をはじめとした安全に関する各種取り組みや施策が展開されます。

考え方

**【お客さま及び社員等の命・怪我】につながる事故を根絶する**

そのために、これを脅かす【危険な事故・事象】の撲滅を目指す  
さらに、【ご迷惑をおかけする事故・事象】も低減を図る

目標



#### ■目標達成に向けてなすべきこと

##### ・最重点項目<信号違反・触防違反撲滅>への取り組み

前の3か年計画の期間で、増加傾向にあった事象のうち、特に危険な「信号違反」「触防違反」について、特に重点をおいて対策に取り組みます。

##### ・今までも、これからも着実に実施する取り組み

さまざまな施策だけでなく、私たち自身の成長のための取り組みについても、継続していくべきものは見直しを行いつつ着実に実施していきます。

##### ・新たに始める取り組み

さまざまな事故・事象の未然防止や再発防止の取り組みの展開のため、IoT、ビッグデータ、画像認識等の新技術の導入によるCBMを含めた設備管理手法等の革新に取り組みます。

##### ・次のステップに向け検証する取り組み

環境の変化、技術の進歩とともに、安全への取り組みも進化しなければならず、未来に向けた挑戦を続けます。

### 2-2 2022年度 安全基本方針

「安全中期計画2020-2022」の目標達成に向けて安全基本方針に「基本となる5つの方針」を定め、最終年度として、JR九州グループの全社員が一体となった取り組みを実施します。

#### ■基本となる5つの方針

- ① JR九州グループの「安全中期計画2020-2022」の最終年度として、目標達成に向けた各取り組みの推進
- ② 信号違反の撲滅に向けて、フォロー教育の充実と継続的な改善状況の把握
- ③ 触防違反の撲滅に向けて、ルールを理解し、正しく実践する社員の育成とJR九州グループ一体となった取り組みの実施
- ④ 三大労災(触車・感電(高圧)・墜落)の根絶のために、安全教育の徹底と安全パトロールの強化
- ⑤ 激甚化する災害や不測の事態が発生した際のお客さまへの早期対応と計画運休等に関する適切な情報提供

### 2-3 安全中期計画2023-2025

2022年度で安全中期計画2020-2022が最終年度を迎えたため、2023年度からの新たな3か年計画として、「安全中期計画2023-2025」を策定しました。本計画では、安全をつくる仕組みとして「安全の方程式」を設定しています。安全の方程式は、「(知っている事+出来る事)×熱意=安全」で表され、『安全をつくるのは知識や技術だけではない。熱意が「ゼロ」なら安全は「ゼロ」、熱意が2倍なら安全は2倍!』との考えを示しています。本計画では、安全の方程式の示す、安全への熱意を礎にJR九州グループ一体となって、「ゆるぎなき安全」の実現に向けて、積極果敢に挑戦します。

